

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成28年1月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第67期第1四半期（自平成27年9月1日至平成27年11月30日） |
| 【会社名】 | ナガイレーベン株式会社 |
| 【英訳名】 | NAGAI LEBEN Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 澤登 一郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区鍛冶町二丁目1番10号 |
| 【電話番号】 | 03(5289)8200(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 大野 和城 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区鍛冶町二丁目1番10号 |
| 【電話番号】 | 03(5289)8200(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 大野 和城 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第66期 第1四半期連結 累計期間 | 第67期 第1四半期連結 累計期間 | 第66期 |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成26年9月1日 至平成26年11月30日 | 自平成27年9月1日 至平成27年11月30日 | 自平成26年9月1日 至平成27年8月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,994,517 | 2,579,864 | 16,150,534 |
| 経常利益 (千円) | 1,013,061 | 563,642 | 5,088,938 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 649,745 | 369,179 | 3,225,962 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 876,464 | 341,399 | 3,367,698 |
| 純資産額 (千円) | 33,804,006 | 31,811,872 | 34,795,123 |
| 総資産額 (千円) | 37,460,063 | 35,381,007 | 39,008,455 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 18.97 | 11.10 | 95.64 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 90.2 | 89.9 | 89.2 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策の継続により、企業収益や雇用情勢等に改善がみられ、緩やかながら景気に回復基調が見られました。一方で、中国経済の減速傾向や好調な雇用情勢等を背景とした米国の利上げ予測もあり、国内経済の先行きは、不透明な状況で推移しております。

医療・介護を取り巻く環境としましては、毎年増加している社会保障費の増加額抑制に向け、来年4月実施される診療報酬改定について活発な議論がなされているところであり、その行方が懸念されております。

当社グループ（当社及び連結子会社）は、当第1四半期連結累計期間に予定されていた更新物件が元々少なく、売上規模が小さい期間でもあることから、前期同期比13.8%減と大きな増減率となりました。しかしながら、期初計画との乖離は大きくなく、今期は年明けから第3四半期に掛けて更新物件が集中しており、新規物件の獲得とともに更新物件の確実な受注を目指して参ります。

生産に関する状況といたしましては、当社グループは新規海外生産地への移管、海外シフト率の向上及び為替リスクヘッジのための先物為替予約の円高効果により影響の低減を図ったものの、各種原材料・加工賃の上昇及び、円安の急激な進行の影響を受けたことにより、売上高総利益率は、前年同期比0.9ポイントのダウンとなりました。

販売費及び一般管理費は、社員旅行の実施、100周年記念品顧客配布等により、前第1四半期連結累計期間に比べ増加いたしました。

営業外収益といたしましては、為替差益として前第1四半期連結累計期間は、2億15百万円を計上いたしましたが、当第1四半期連結累計期間は、5百万円を計上いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては25億79百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益は5億44百万円（同30.5%減）、経常利益は5億63百万円（同44.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億69百万円（同43.2%減）を計上いたしました。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、40百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 100,000,000 |
| 計 | 100,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成27年11月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成28年1月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 38,236,000 | 38,236,000 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 38,236,000 | 38,236,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|---------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成27年9月1日～ 平成27年11月30日 | - | 38,236,000 | - | 1,925,273 | - | 2,202,171 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年11月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|--------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 4,989,500 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 33,242,000 | 332,420 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 4,500 | - | - |
| 発行済株式総数 | 38,236,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 332,420 | - |

【自己株式等】

平成27年11月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数 （株） | 他人名義所有株式数 （株） | 所有株式数の合計 （株） | 発行済株式総数 に対する所有株式数の割合 （％） |
|-------------|--------------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| ナガイレーベン株式会社 | 東京都千代田区鍛冶町 2 - 1 - 10 | 4,989,500 | - | 4,989,500 | 13.05 |
| 計 | - | 4,989,500 | - | 4,989,500 | 13.05 |

（注） 当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は、4,989,504株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年9月1日から平成27年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年9月1日から平成27年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,673,682 | 15,465,547 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,689,638 | 3,462,624 |
| 電子記録債権 | 69,942 | 73,514 |
| 有価証券 | 1,518,015 | 1,518,184 |
| たな卸資産 | 4,199,858 | 5,009,610 |
| その他 | 562,090 | 659,862 |
| 貸倒引当金 | 1,474 | 737 |
| 流動資産合計 | 29,711,754 | 26,188,606 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,450,958 | 2,413,810 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 491,196 | 481,990 |
| 土地 | 4,447,840 | 4,447,840 |
| 建設仮勘定 | 6,018 | 6,018 |
| その他(純額) | 208,986 | 202,341 |
| 有形固定資産合計 | 7,605,001 | 7,552,000 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 71,715 | 65,703 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 623,647 | 643,679 |
| その他 | 998,189 | 932,844 |
| 貸倒引当金 | 1,854 | 1,829 |
| 投資その他の資産合計 | 1,619,982 | 1,574,695 |
| 固定資産合計 | 9,296,700 | 9,192,400 |
| 資産合計 | 39,008,455 | 35,381,007 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,399,018 | 1,483,831 |
| 未払法人税等 | 1,151,025 | 149,662 |
| 賞与引当金 | 82,484 | 161,933 |
| その他 | 629,293 | 812,130 |
| 流動負債合計 | 3,261,822 | 2,607,558 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 199,140 | 202,459 |
| 退職給付に係る負債 | 650,042 | 657,334 |
| その他 | 102,326 | 101,781 |
| 固定負債合計 | 951,509 | 961,576 |
| 負債合計 | 4,213,331 | 3,569,134 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,925,273 | 1,925,273 |
| 資本剰余金 | 2,358,190 | 2,358,190 |
| 利益剰余金 | 35,040,956 | 32,085,486 |
| 自己株式 | 4,902,160 | 4,902,160 |
| 株主資本合計 | 34,422,260 | 31,466,790 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 201,784 | 215,271 |
| 繰延ヘッジ損益 | 276,248 | 230,960 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 105,170 | 101,149 |
| その他の包括利益累計額合計 | 372,862 | 345,082 |
| 純資産合計 | 34,795,123 | 31,811,872 |
| 負債純資産合計 | 39,008,455 | 35,381,007 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 2,994,517 | 2,579,864 |
| 売上原価 | 1,593,102 | 1,395,905 |
| 売上総利益 | 1,401,415 | 1,183,959 |
| 販売費及び一般管理費 | 617,228 | 639,068 |
| 営業利益 | 784,186 | 544,891 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,365 | 3,768 |
| 受取配当金 | 162 | 182 |
| 受取賃貸料 | 14,336 | 14,336 |
| 為替差益 | 215,933 | 5,825 |
| 雑収入 | 3,182 | 3,510 |
| 営業外収益合計 | 237,980 | 27,622 |
| 営業外費用 | | |
| 固定資産賃貸費用 | 9,104 | 8,318 |
| 雑損失 | 1 | 552 |
| 営業外費用合計 | 9,105 | 8,870 |
| 経常利益 | 1,013,061 | 563,642 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 215 | 42 |
| 特別利益合計 | 215 | 42 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 273 | 192 |
| 特別損失合計 | 273 | 192 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,013,004 | 563,492 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 335,944 | 165,130 |
| 法人税等調整額 | 27,314 | 29,182 |
| 法人税等合計 | 363,259 | 194,312 |
| 四半期純利益 | 649,745 | 369,179 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 649,745 | 369,179 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 649,745 | 369,179 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,250 | 13,486 |
| 繰延ヘッジ損益 | 204,244 | 45,288 |
| 退職給付に係る調整額 | 4,225 | 4,021 |
| その他の包括利益合計 | 226,719 | 27,780 |
| 四半期包括利益 | 876,464 | 341,399 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 876,464 | 341,399 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳及び金額は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日) |
|----------|-------------------------|-------------------------------|
| 商品及び製品 | 3,309,490千円 | 4,064,965千円 |
| 仕掛品 | 176,333 | 181,223 |
| 原材料及び貯蔵品 | 714,033 | 763,422 |
| 計 | 4,199,858 | 5,009,610 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 88,017千円 | 81,015千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|-------------|-------|
| 平成26年11月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,712,326 | 50.00 | 平成26年8月31日 | 平成26年11月28日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成27年11月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|-------------|-------|
| 平成27年11月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 3,324,649 | 100.00 | 平成27年8月31日 | 平成27年11月27日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当額には創業100周年記念配当50円を含んでおります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 18円97銭 | 11円10銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 649,745 | 369,179 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円) | 649,745 | 369,179 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 34,246,538 | 33,246,496 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 1月13日

ナガイレーベン株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田光 完治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 澤部 直彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナガイレーベン株式会社の平成27年9月1日から平成28年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成27年9月1日から平成27年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年9月1日から平成27年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナガイレーベン株式会社及び連結子会社の平成27年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。